

横浜市域における地域日本語教育の総合的な体制づくりに係る実態調査

I 貴校の概要について

問1 学校の概要を教えてください。(具体的に記入してください。)

学校名			
組織名(法人名等)			
横浜市での開校時期	西暦	年	月

ご回答者様

部署		お名前	
TEL		e-mail	

II 受講者について

問2 貴校の日本語教師養成コース受講者数についておたずねします。(概数で結構です)

① 現在の受講者数を年代別にご記入ください。 2024年7月1日現在

- 30歳未満 ()人 →うち外国人()人
 30~59歳 ()人 →うち外国人()人
 60歳以上 ()人 →うち外国人()人

② 受講者は、**どんな方々**ですか。(いくつでも)

- 学校の教員(具体的に:)
 教員以外の就業者(具体的に:)
 仕事をリタイアした人や主婦・主夫 留学生
 大学生や専門学校生 その他()

③ コロナ禍以前の状況とも比較して、受講者の最近5年程度の増減傾向を教えてください。(1つ)

- 増えた 少し増えた ほぼ横ばい
 少し減った 減った

受講者の属性(出身国・地域、年代、職業等)の傾向変化についてご記述ください。
--

④ 受講者の受講(履修)の理由は、主に何でしょうか。(いくつでも)

- 日本語教師として職に就くため 日本語教師としてスキルアップするため
 地域日本語教室等の学習支援者としてスキルアップするため
 職場の都合で資格取得やスキルアップが必要になったため
 日本語教師資格取得のため 登録日本語教員資格取得のため
 その他()

⑤卒業後の主な進路・就職先を教えてください。(いくつでも)

- 日本語学校に就職 → (主に国内 国内とは限らない)
日本語学校以外の学校に就職 → (主に横浜市内 市内とは限らない)
企業等に就職 → (主に国内 国内とは限らない)
フリーの指導者(日本語教師) → (主に横浜市内 市内とは限らない)
地域日本語教室等の学習支援者 → (主に横浜市内 市内とは限らない)
その他 ()

Ⅲ 日本語教師の養成方法等について

問3 貴校における日本語教師養成の内容や方法についておたずねします。

①地域日本語教育(「生活者としての外国人」に対する日本語教育)を取り入れていますか。(1つ)

- カリキュラムを設けている・組み込んでいる
通常の講義以外に特別講座・講義等を行うことはある
現在は扱っていないが、今後取り入れたい
取り入れる予定はない その他 ()

②地域日本語教育に係る「日本語教育コーディネーター」の育成に取り組んでいますか。(1つ)

- コースを設けている 講座を設けている
現在は扱っていないが、今後取り入れたい
取り入れる予定はない その他 ()

③日本語学習の方法として「やさしい日本語」を取り入れていますか。(1つ)

- カリキュラムを設けている・組み込んでいる
活用を推奨している
受講者に紹介はしている 学校としての規定はない(教員に任せている)
その他 ()

④学習にオンラインシステムを導入していますか。(いくつでも)

- オンラインコースを設けている
オンライン・オンデマンドでも受講できるようにしている(双方向・録画を含む)
学校や講師からの連絡事項の伝達や出欠連絡等に活用している
その他 ()

問4 貴校は、日本語教師にどんな資質を求めていますか。(いくつでも)

- 「正しい」日本語の教育ができること 通じる(実用的な)日本語の教育
個々の学習ニーズへの柔軟な対応力 国家試験の合格
日本の制度やルール・習慣への知識 学習者の社会参加への寄与
多文化共生への理解・異なる文化や価値観の受容力
特になし(個々の目標を尊重) その他 ()

問5 外部との連絡・連携についておたずねします。

①現在、日本語教育や学習者の支援で、**連絡・連携している先**はありますか。(いくつでも)

- 他の日本語学校 地域日本語教室 日本語教師養成機関
学校(小・中・高) 業界団体・企業 外国人当事者団体
国際交流ラウンジ 横浜市国際交流協会(YOKE)
よこはま日本語学習支援センター(YNC) 国や県の機関
区役所・市役所 社会福祉協議会 民間支援団体
特にない その他()

②①のうち、市内で**特によく連携している先**を3つまであげて、連携の内容をご記入ください。

名称(①の分野名か団体名)	連携の内容

IV 横浜市域で

問6 横浜市域での**地域日本語教育との関わり**についておたずねします。①貴校では、受講者に**市内の地域日本語教室**を紹介することはありますか。(1つ)

- 紹介している 教室の情報提供はする 特に紹介はしていない

②貴校の教師や卒業生で、**市内の地域日本語教室で教えている人**はいますか。(1つ)

- 市内の教室でも教えている教師がいる 市内の教室で教えている卒業生がいる
わからない・把握していない その他()

③特につながりのある教室があれば、**教室名や連携の内容**などを教えてください。

④貴校では、企業に対して、日本語教師を紹介することはありますか。(1つ)

- 紹介している 教室の情報提供はする 特に紹介はしていない

⑤貴校では、最近1年間で、日本語学校、地域日本語教室、企業から、日本語学習支援に関する相談や教育人材の紹介等について、相談を受けたことがありますか。(1つ)

- よく相談を受ける 相談を受けたことがある 相談を受けたことはない

→お差し支えない範囲でご記述ください。

・主な相談者や相談の内容について

・相談対応で困ったことと、どうやって解決したかについて

⑥「よこはま日本語学習支援センター（YNC）」は、地域日本語教育に関する情報提供、相談対応、連携ネットワーク形成等に取り組んでいます。利用したことはありますか。（1つ）

連絡や相談をしたことがある 知っているが、今までは特に関わりがない

名前は聞いたことがある（事業内容は知らない） 知らなかった

問7 横浜市域における地域日本語教育のあり方について、お考えを教えてください。

① 地域日本語教育における日本語教師養成機関の役割・あり方

② 日本語教育機関や地域日本語教室の役割・あり方

③ 外国人雇用業界・企業への期待

④ 横浜市や横浜市国際交流協会（YOKE）への期待

⑤ 貴校として、横浜市内で連携・協力できることはありますか。（いくつでも）

- 生活者向け日本語教室の開催 地域日本語教室への日本語教師／講師の派遣
 企業への日本語教師の派遣 日本語学習支援者向け研修等の開催
 日本語学習支援者等向け研修への講師の派遣
 教材や教育プログラムの開発 学習者を支援する体制（ネットワーク）への参加
 できることはない 何ができるかわからない
 その他（ ）

問8 横浜市域における地域日本語教育、これを通じた多文化共生のまちづくりに向けて期待することやご提案がありましたら、自由に記入してください。

ご協力、誠にありがとうございました。